

☆きらり2☆

家庭科だより

「生活を豊かにソーイング」の学習では、ふくろ作りの学習でトートバックを作りました。昨年はランチマットを作り、ミシンで直線を縫う学習をしました。今年はミシンの扱いも少しレベルアップし、袋の出し入れ口を縫ったり、持ち手がとれないように何度も返し縫をして丈夫に縫い付けたりしました。今回は急な募集でしたが、ミシンボランティアとして保護者の方にもお手伝いいただくこともでき、とても助かりました。ありがとうございました。

完成した袋について、どのような点が良かったか、さらに工夫するとよいと思ったことを活動報告書にまとめました。これからの製作や活用に活かせるアイデアが見つかると思います。

《学習の様子》



ミシンの使い方も慣れてきました。



持ち手を付ける時は、長さがずれないように正確に測りました。返し縫いをしてしっかり付けました。



《児童の感想》

- ・返し縫いをして持ち手を縫い付けることができた。出し入れ口をまっすぐに縫うことができた。
- ・持ち手の部分がねじれてしまったので、次に作る時は気をつけて付けたい。
- ・今度は、マチのあるトートバックを作りたい。

今回のトートバック作成していく中で、5年生の時にはかなり苦戦していた「しつけ縫い（手縫い）」が、ずいぶんスムーズにできる児童が増えたことに気づき、児童の成長を感じました。また、友だち同士で教え合う姿や自分のバックではなく家族のためのものを作っている児童の姿を見て、自分以外に目を向け、協力することができるようになったことも感じました。今回のトートバック作りの学習から、もっと大きな（又は小さな）トートバックや巾着など、いろいろなバックづくりに挑戦してくれたらうれしいです。